

## 令和4年度 第2回 犬山市地域公共交通会議 議事要旨

日時：令和4年8月30日（火）午前10時～

場所：犬山市役所2階205会議室

出席者：19名中18名

### 1 開会

【事務局】 開会の挨拶を行う。

### 2 あいさつ

【磯部会長】 挨拶を行う。

【事務局】 犬山市地域公共交通会議の委員数19名に対し、本日は18名が出席。過半数をこえているため、本日の会議が成立していることを宣言する。  
傍聴者（2名参加）について、説明を行う。また、代理出席、配布資料について説明を行う。資料2-1、2-2の質疑応答のため、国際開発コンサルタント（1名）、名鉄西部交通（1名）、インターンシップ生（2名）の出席を報告する。

### 3 議事

【磯部会長】 議事要旨の署名に、森岡委員と鈴木委員を指名する。

#### （1）協議事項

##### ■地域公共交通計画の策定について

【事務局】 資料1-1、1-2、1-3「地域公共交通計画の策定について」の説明を行う。

【磯部会長】 各委員から意見等は。

【飯坂委員】 アンケートが950票回収である中、どのくらいの回収率が目安として実施したか。

【事務局】 2,000人の配布であれば800人の回収で問題ない精度となるため、アンケートとして成立していると考えている。

【本田委員】 今後アンケート以外に市民等のニーズを伺う機会を予定しているか。

【事務局】 アンケート調査は予定していない。過去のアンケート結果も計画策定に含めていきたい。企業の送迎バスや施設の送迎バスなどが整理しきれていないため、現地調査などによりまとめていきたい。

【磯部会長】 他に意見等は。

【委員】 なし。

【磯部会長】 全員一致で協議が調った。

##### ■公共交通実証実験（デマンド交通）について

【事務局】 資料2-1、2-2「公共交通実証実験（デマンド交通）について」説明を行う。

【磯部会長】 各委員から意見等は。

- 【安藤委員】 対象地域は人口減少となっており、こうした交通が必要だろうと考えている。次期計画は地域に即した特徴のある計画にする必要があると考えている。地域に対して提案をしていくことが、交通事業者としても考えられている。三河の岡崎、尾張の犬山は観光都市として考えているため、車両も旧来の名鉄電車の車両のカラーとして運行するなど工夫している。各種交通モードを縦割りとするのではなく、つながってご利用いただくようなものとしたので、様々なご意見・ご批判が出てくるかと思うが、よろしくお願ひしたい。
- 【磯部会長】 実際に運行するまでのスケジュール感を説明してほしい。
- 【事務局】 この会議で承認後に運行委託契約の締結となる。その後に地域の役員へ説明、町会長へ説明という流れとなる。そこで具体的な乗降場を決めていきたい。運輸局での認可もあるため10月の頭には案として固め、説明会を11月～12月ごろ行いたい。
- 【飯坂委員】 地元の説明会について、登録制の乗り物という性質上、もう少し早くした方がいい。
- 【磯部会長】 この会議で運行地区が決まるため、運行することだけでも地域に周知してはどうか。
- 【事務局】 回覧等でも周知を行えるため、徹底していきたい。
- 【本田委員】 申請は具体的な乗降地点を固めたうえで、していただくこととなる。また、その乗降地点はこの会議で承認がとられていることが前提となるため、会合・書面のどちらでも構わないので、協議が調っているという表記を申請時に添えていただくこととなる。
- 【事務局】 次回の公共交通会議は10月中旬～下旬に開催予定となるが、運行開始に対してこの日程でよいか。
- 【安藤委員】 申請に関しては運輸局と事業者で随時相談して進めていこうと考えている。
- 【事務局】 書面会議では伝わらない部分があると思うため、次回の会議の時点で乗降場所をお示ししたいと考えている。
- 【磯部会長】 他に意見等は。
- 【委員】 なし。
- 【磯部会長】 全員一致で協議が調った。

#### ■わん丸君バス再編について

- 【事務局】 資料3「わん丸君バス再編について」の説明を行う。
- 【磯部会長】 地域公共交通計画を作成していく作業と、再編を進める作業のスケジュール感について、前回の会議であったかと思うが、いま一度確認したい。
- 【事務局】 本来であれば公共交通計画を作成して、計画に基づいた再編を行うことが望ましいと考えているが、運行契約期間の兼ね合い等により、今回は計画に先行して再編事業が動いている。大規模な再編については計画策定後の事業として進める予定としている。
- 【磯部会長】 大きな再編は行わないが、皆さんの意見により改善できる点については変えていこうというものと理解した。  
鉄道の場合では線路を敷設、駅を建設するとなかなか動かせない。バスはある程度の幅の道路があれば運行させることができる。これがバスのいいところだと思っている。皆さんの工夫により、変わっていける強みがある。

しかし、車の大きさ、道幅の大きさ、運行上の制約、こうした問題があることに対して、できる限り工夫をして、よい運行としたいというものだと思う。

【磯部会長】 他に意見等は。

【委員】 なし。

【磯部会長】 全員一致で協議が調った。

## (2) その他

【安藤委員】 病棟の建て替えについて、世界情勢等により建て替え計画を見直しており、感染症対策の観点から全室個室、外来の動線の見直しを行っている。

来年の秋より着工し、再来年の秋頃にグランドオープンとする計画となっている。

【鈴木委員】 県下の交通事故については、昨年より増加している状態となっており、犬山・扶桑管内においても、交通事故は昨年より増加している。また、自転車の事故が40名で、昨年と比較して12名の増加となっている。

自動車については早めのライト点灯、歩行者等は明るい服装での外出をお願いしたい。

【磯部会長】 以上をもって本日の議事を終了する。

【事務局】 閉会の挨拶を行う。次回会議の案内をする。

以上

令和4年 9月 日

本書は、令和4年8月30日に開催された犬山市地域公共交通会議の議事要旨に相違ないことを証する。

署名人 \_\_\_\_\_

署名人 \_\_\_\_\_